# 道徳科における

# 問題解決的な学習のすすめ方



# 二項対立で、問題解決に 向けて話し合う授業

「最後のリレー」(NHK ココロ部!)

コジマは高校陸上部のキャプテンとなり、ピンチに遭遇。「友情」と「集団の中での自分の 役割」について考える。高校生活最後の地区大会。コジマは3人の同級生とリレーに出場す る。その日の朝、コジマは、メンバーで親友のタクヤが足にテーピングしているところを目 撃する。「ずっといっしょにがんばってきたみんなと走りたい」と訴えるタクヤ。しかし、 キャプテンであるコジマは、チームの勝利のため、監督に伝えてタクヤを外すことも考えな ければならない。

(NHK E テレ ココロ部! 番組ホームページより [http://www.nhk.or.jp/doutoku/kokorobu/])

悩むキャプテンの気持ちを考えることを通して、真の友情について理解を深 め、友情を深めようとする心情を育てる。(B 友情、信頼)

友情とはどんなものですか。

- [なぜコジマくんは困っているのでしょう。]
- ★最後の大会であること、仲間と一緒に走りたいタクヤ、コジマくんとタクヤの関係について、 写真やキーワードを活用して状況を整理します。
- **②**[コジマくんは、どうしたらよいのでしょうか。]

パスも慣れて

★スケール表を活用します。まずは、個人で考えさせてからネームプレートをスケール表に張 ります。

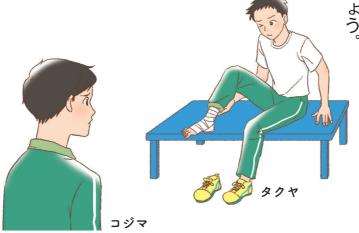
言うとタクヤに怒られる

つも通り走れる



らよいのでしょう。 みんなが納得するにはどうした

合おう 問



なぜコジマくんは困っているの 問

つか

自分なり

のでしょうか コジマくんは、どうしたらよい **③**[みんなが納得するにはどうしたらよいのでしょう。]

★様々な立場からどうすることが望ましいのか考えさせます。

タクヤのけがが心配 タクヤが責められる

最後の大会だから

ムの願いだから

- ④ 「本当の友情とはどのような心を持つことでしょう。」
  - ★両方の理由の背景に、タクヤへの思いがあることに着目させ、どち らが本当にタクヤのことを考えているか話し合わせましょう。

「今日の学習を振り返りましょう。」

て振り返ります。

今までの自分はどのような気持ちを持っていたか、今日の 学習で学んだことは何か、これからの自分はどんな気持ち を大切にするか、多面的・多角的に考えられたか、につい

もつことでしょう。 本当の友情とはどのような心を

合お る時

2

# 様々な意見から、 問題解決を考えさせる授業

<del>数</del>材

「わたしのせいじゃない」

(日本文教出版『小学道徳 生きる力』6年 p.140~p.145)

### あらすじ

海外の絵本の教材です。一人の子どもがいじめられて泣いています。14人という集団からいじめられています。しかし、いじめている本人たちは「わたしのせいじゃない」と言って、いじめていることを否定したり、正当化したりしています。さらには、傍観者のふりをしていじめに加担していないと強調する子どももいます。いじめの態様をよく表している教材です。

いじめに対する傍観者としての無責任な気持ちがいじめを生んでいることを 理解し、いじめを断ち切るために社会正義を貫こうとする態度を養う。

(C 公正,公平,社会正義)

導 入

いじめについてどう考えますか。

展開

問題をつかもう

考えてみよう。

تا

めをたち切る正義」

につ

(1

いじめの原因は何だったのか、

- ●「いじめの『原因』は何だったのか、考えてみましょう。また、いじめをたちきることができなかったこの14人には、どんな心が足りなかったのでしょう。|
  - ★この教材で描かれていることは、いじめの問題であるという意識をクラスの全員が持たなければなりません。中には傍観者の方便に「なるほど」と思う子もいるかもしれませんが、「本文に表れている現象はいじめです」とはっきり指摘することが大切です。
    - ②「この学級のいじめを止めるために、あなたなら、14 人の誰にどのように話しかけますか。」
    - ★一人一人の児童がどうしてそのような行為, 行動をとろうとしたのか, 「動機」について考えさせることが大切です。
    - ③いじめの止め方をグループで話し合う。
      - ★自分の考えた解決方法をグループで話し合い、より良い方向に自分の考え を修正します。まず、自分の考えた解決方法を発表しますが、なぜそう考 えたか理由を話しましょう。次にグループから質問、意見、感想をもらい、 納得すれば自分の考えを修正します。グループで話し合う際は、司会や話 す順番、質問の仕方などきちんと決めておくことが大切です。
      - いじめの止め方をクラス全体で話し合う

グループで話し合ったことを基にして全体で話し合います。グループで話し合って、これは良い考えだなと思った意見を発表するようにします。

- ④「学級全体でいじめをなくすために大切な考え方は、 どんな考え方でしょう。」
  - ★方法論で終わらないように、どの方法をとるにしても大切な考え方を しっかりと押さえます。自分に降りかかってくることを恐れ、つい傍観 者になってしまう弱さは全員持っていることを確認したうえで、その弱 さを克服しない限り、いじめはなくならないことを共通理解します。

終末

「今日の学習を振り返りましょう。」

今までの自分はどのような考え方を持っていたか、今日の学習で学んだことは何か、これからの自分はどんな考え方を大切にするか、多面的・多角的に考えられたか、について振り返ります。



が 身近にある「不公平」 見かそう

グループで話し合った 内容を発表して、学級 内容を発表して、学級 ためにたいせつな考え ためにかせつな考え

4 にたいせつな考え方問題を解決するとき

しまったの?なぜ続いて

だれのせい?

145

立ち向かっていきたいかな

4

### 役割演技を通して, 問題解決を考えさせる授業

「すれちがい」

(日本文教出版『小学道徳 生きる力』5年 p.134~p.139)

ピアノ教室に一緒に行く約束をしたよし子とえり子が、それぞれの自分本位な理解の仕方で 行動してしまったために約束を守ることができなくなり、互いに腹を立ててしまうという二 人の日記作文です。自分の立場や思いだけを尊重し、相手の立場や状況を考えない二人は、 相手の行為を非難することで友情にもひびが入ってしまいます。「自分と異なる立場や意見」 に対する姿勢について自分との関わりで考えられる教材です。

よし子とえり子のすれ違いの原因や、お互いを理解するために大切な気持ち を考えることから、自分と異なる意見や立場を尊重しようとする態度を養う。 (B 相互理解, 寛容)

相手をなかなか許せず、いやな気分になったことはありませんか。

問題をつかもう。

- ●「なぜ二人はすれ違いになってしまったのでしょう。」
- ★すれちがいになったわけ、状況を共通理解します。
- 2「どうすれば、このようなすれ違いにならなかったのでしょう。解決 方法を考えましょう。|

問

★よし子、えり子の立場になって、どうすれば解決するか考えます。



問題について話し合おう。

わかっていても、

相手の立場

をたいせつにできないことが

いて話し合おう。いせつな考え方は対するとき

ような思いをたいせつにしうに仲よくするには、どのよし子とえり子が、もとのよ





につい

考えてみよう。

「相手の立場もたいせつにする

3役割演技を活用します。

★この後、二人が話し合う場面を設定し、よし子役、えり子役になって自 分で考えた解決方法を演じさせます。ここで大切なのは、演ずることよ り演じた後の話し合いが大事であること、同じ演技をさせるのではなく、 改善策を演じさせることです。つまり、役割演技1が終わった後の話し 合いで「これでよかったのか」「どうすればみんなが納得するのでしょ う」と子どもたちで改善策を話し合い、出てきた改善策を役割演技2で 演じるのです。

会う。

役割演技1

改善策を

役割演技2

すれ違いが起きた時に、どのような考え方 を持てばよいのでしょう。

4問題解決する時に大切な考え

方とは何か. 学級全体で話し

★人間関係をよりよくするにはどういう心 が必要か、自分との関わりで考えさせま しょう。

「今日の学習を振り返りましょう。」

今までの自分はどのような考え方を持っていたか、今日の学習で 学んだことは何か、これからの自分はどんな考え方を大切にす るか、多面的・多角的に考えられたか、について振り返ります。

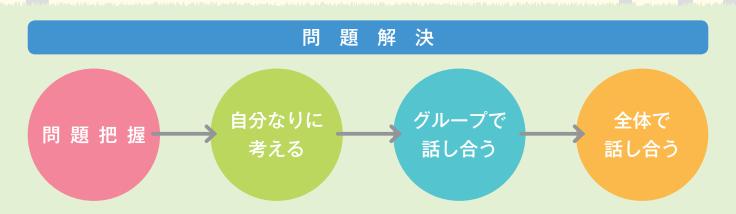
見つめよう 生かそう

### 道徳科における問題解決的な学習とは

文部科学省から道徳科においても問題解決的な学習の必要性が問われてから、様々な考え方が出されていますが、現場では今一つよくわからないのが現状ではないでしょうか。

いろいろな考え方はありますが、一番わかりやすいのは、まず結論が明示されていない教材を通して問題をつかませ、自分なりの考えを持たせた後、問題について話し合い、解決していく方法ではないでしょうか。今までの道徳科の授業は、結論が明示された教材を範読し、主人公の気持ちを話し合っていくものでした。子ども主体の授業を考えると子どもたちが結論を考えていくことが望ましいで、子どもたちが様々な方法を考えた後、どの方法をとるにしても大切な心、気持ちは何ですかとしっかりおさえることが大切です。さらに、今回は、三つの事例を載せましたが、問題解決的な学習はこれだけではありません。導入で自分の生活を見直して課題をつかませたり、たくさんの道徳的価値を含む問題を議論したりすることも大切です。この冊子を通して、様々な問題解決的な学習を考えるきかけになればよいと思います。

尾高 正浩(千葉市立轟町小学校校長)



### 道徳科における問題解決的な学習のすすめ方

### 日文 教授用資料

平成30年(2018年)10月1日発行

**⊘** ●

### 編集·発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本資料は平成30年(2018年)度版小学校道徳科内容解説資料として扱われます。 本書の無断転載・複製を禁じます。

本書の無断転載・復製を祭じま

### 日本文教出版 株式会社 http://www.nichibun-g.co.jp/

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5 TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16 TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14 TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938 東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F•B

TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1 TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

CD 33422